

2020年11月24日

株式会社筑邦銀行、九州電力株式会社およびSBIホールディングス株式会社との 包括連携協定の締結について

株式会社筑邦銀行（本店：久留米市、頭取：佐藤清一郎）、九州電力株式会社（本社：福岡市中央区、代表取締役 社長執行役員：池辺和弘）およびSBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：北尾吉孝）は、プレミアム付商品券の電子化をはじめとして、地方創生および地域の経済活性化に関して相互に連携・協力する包括連携協定を締結します。

当行は今後もお客さまの多様なニーズにお応えし、よりご満足いただける新しい金融サービスの提供に努めてまいります。

記

1. 連携目的

当行では、これまでに九州電力が提供する情報プラットフォームを活用して2019年8月に宗像市の電子地域通貨「常若通貨」、また2020年9月にうきは市、同年10月に太宰府市、11月には平尾商工連合会および箱崎商店連合会でスマートフォンを活用して電子プレミアム付商品券を発行する仕組みを提供しました。

アプリ上で申込みから決済までの一連の手続きを電子化することにより、これまで紙で発行していた商品券等の各種事務負担を軽減するとともに、利用者の利便性向上や加盟店の拡大等、地域経済の活性化を図ることが可能となります。

中でも、プレミアム付商品券の電子化は、ポストコロナ社会の地域経済の活性化施策として、全国各地の自治体や商店街等で需要が高まっています。今後、3社の連携をより強化し、これまでの取り組みの知見を活かしながら、プレミアム付商品券の電子化に取り組んでまいります。

2. 締結日

2020年11月24日（火）

【主な取り組み】

- (1) プレミアム付商品券等の電子化に係る情報プラットフォームの構築
- (2) プレミアム付商品券等の電子化および情報プラットフォームの導入、活用に係る営業活動の相互支援
- (3) プレミアム付商品券等の電子化および情報プラットフォームの利用拡大に向けた企画等の取り組みにおける協力
- (4) 情報プラットフォームと連携した、地方創生および地域の経済活性化に資するその他関連サービスの検討・構築

「本件問い合わせ先」

企画本部 デジタル戦略グループ

担当：帆足・指原 0942-32-5336

以上